



## 九州まどまる商談会

九州のモノづくり企業が集結！  
モノづくり・商業・サービス・革新事業の販路拡大を目的とし、展示商談会を実施しています。

**AW-1**

## モノづくりビジネス交流会

〈日 時〉10月19日(木) 10:00~17:00  
〈会 場〉マリメッセ福岡A館1Fイベント会場B  
(展示商談) 25社程度 商品・カタログの展示ブースを設置(プレゼンテーションタイム)  
企業情報や商品・技術・サービスをプレゼンで紹介

**モノづくり団体による会員交流の促進と新規開拓・取引拡大を図る**  
**展示商談・プレゼンテーションタイムを開催**

※詳細は、福岡商工会議所ホームページをご確認ください。  
<https://www.fukunet.or.jp/fcci-events/event-2023-10-036/>

企画主催/福岡商工会議所工業部、福岡市機械金属工業会、九州山口産業人クラブ  
お問合せ/福岡商工会議所 工業部担当 TEL: 092-441-1118  
福岡市博多区博多駅前2-9-28 mail: fkkankou@fukunet.or.jp

## 九州自動車部品等現調化促進商談会

〈個別商談〉10月19日(木) 13:00~16:30  
20日(金) 13:00~15:30 (予定)  
〈会 場〉マリメッセ福岡A館1Fイベント会場A

**地元企業の自動車産業への新規参入・取引拡大の促進を図る個別商談会を開催**  
(1面談25分・事前予約制)

主 催/九州自動車・二輪車産業振興会議  
実施機関/〈公財〉福岡県中小企業振興センター、〈公財〉佐賀県産業振興機構、  
〈公財〉長門県産業振興財団、〈一社〉熊本県工業連合会、  
〈公財〉大分県産業創造機構、〈公財〉宮崎県産業振興機構、  
〈公財〉かこしま産業支援センター

お問合せ/〈公財〉福岡県中小企業振興センター 自動車産業支援課  
TEL: (092) 622-0040 mail: Hirose@joho-fukuoka.or.jp

## 九州ロボットコンテスト2023

### モノづくりフェア杯

10月20日(金) 10:30~16:00

各チームが制作したロボットを展示及びデモンストレーションを披露。来場者の投票にてグランプリを決定!

会場 マリメッセ福岡A館1Fイベント会場B

## 第14回 福岡県高等学校溶接技術競技会

〈作品展示〉10月18日(水)~20日(金)  
〈表彰式〉10月18日(水) 15:00~16:00  
〈会 場〉マリメッセ福岡A館1Fイベント会場B

溶接は多くの産業を支える重要な基礎技術であり、熟練した高度な技術が、求められます。高校生は将来日本のモノづくりの技を支える貴重な人材で、その技術の習得状況は各方面から高い関心が寄せられています。本競技会では福岡県下14校65人が溶接技術を競いました。そして優秀な成績を収めた作品を展示し、表彰いたします。

主 催/福岡県、(一社)福岡県溶接協会  
共 催/福岡県工業高等学校長協会  
後 援/北九州市、福岡市、(一社)日本溶接協会  
協 賛/山九、(株)サンキュリサーチアンドクリエイティブ、  
(株)神戸製鋼所、日鉄溶接工業(株)、日刊工業新聞社

## 自動車サプライヤー技術連携促進会

〈日 時〉10月18日(水) 10:00~17:00 [申込み番号] E1  
〈会 場〉マリメッセ福岡A館1Fイベント会場A

**企業間連携に係る基調講演や事例紹介、技術連携を希望する企業によるプレゼンを実施。また、同会場にて終日、技術連携を希望する企業のブース展示を実施。**

基調講演 13:00~14:00  
「自動車部品サプライヤーにおける新事業創出の取り組み」  
(株)東海理化電機製作所 取締役 副社長執行役員  
ニュービジネスセンター長 佐藤 雅彦 氏

※詳細は、ホームページ上で更新しますのでご確認ください。  
企画主催/北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議

10月18日(水) 13:30~16:40 B館2F 特別会場 [申込み番号] Z1

## 資源エネルギー庁(令和5年度)中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費による事業

### 令和5年度省エネ診断・技術事例発表会

#### コスト削減と脱炭素の同時達成を支援します

エネルギー価格高騰の今、省エネはコスト削減に即効性のある解決策であり、脱炭素への対応としても有効な手段です。本発表会では、コストを下げずに実行できる運用改善をはじめとした省エネ推進の着眼点や具体的な実施方法、更なる効率化に向けた投資改善策などの最新技術を紹介いたします。

〔主な内容〕省エネ政策の最新動向、西日本地区の省エネ診断事例5件、省エネ大賞受賞事例、省エネ支援サービスの紹介等  
プログラムは8月下旬に下記サイトで発表いたします。  
<https://www.shindan-net.jp/seminar>

問い合わせ先/省エネルギーセンター内 省エネ診断・技術事例発表会事務局  
TEL:03-5439-9716

(企画主催) 一般財団法人省エネルギーセンター

18 水 11:00~12:00 [申込み番号] A1

## 自動車部品業界のカーボンニュートラル(CN)への取り組み

自動車部品業界のカーボンニュートラル(CN)への取組として、業界団体である(一社)日本自動車部品工業会が掲げる目標や活動方針、取組概要等を説明するとともに、会員企業の活動事例として、株式会社アシシンのCNに向けた考え方・具体的取組等を紹介いたします。

〔1部〕自動車部品工業会(部工業)のカーボンニュートラル(CN)への取組と各種CN支援ツールのご紹介  
(一社)日本自動車部品工業会では、2050年CN達成に向けた中間として、2030年度CO<sub>2</sub>排出量(2013年度比46%以上削減)を目標に掲げ、会員企業への支援活動や課題解決に向けた取組、関係団体と連携した対策や政府への各種要請等の活動を推進している。そうした活動概要を説明するとともに、会員外にも公開している(活用頂ける)各種CN支援ツールを紹介いたします。

〔2部〕カーボンニュートラルに向けたアシシンの取り組み  
カーボンニュートラル社会の実現を目指す環境技術の競争力強化を図るとともに、自社のみなさま、サプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>削減目標の達成を目指すと共に、地域社会でのエネルギーと資源の循環・普及に貢献していく。

〈講師〉〔1部〕(一社)日本自動車部品工業会 業務部長 次長 内野 剛士 氏  
〔2部〕株式会社アシシン カーボンニュートラル推進センター 副センター長 竹本 和雄 氏

(企画主催) 一般社団法人日本自動車部品工業会(JAPIA) / 日刊工業新聞社

18 水 13:00~14:40 [申込み番号] A2

## 九州の半導体産業振興を支える新たな人材育成

シリコンアイランド九州は、企業集積や工場建設が活発化し、新たなステージへ前進しているが、人材不足が大きな課題となっている。その現状や産学官を中心とした新たな半導体技術者育成取組をわかりやすく紹介いたします。

〔1部〕13:00~13:40  
半導体関連の産業政策と九州での人材育成の取組について  
本セミナーでは、九州・熊本での産業用先端半導体の世界的な製造拠点化を掲げる経済産業省の産業政策と、その安定供給や研究開発を支える半導体関連人材の育成・確保に向けた九州の取組をご紹介します。

〔2部〕13:40~14:10  
マイクロ化総合技術センターにおける半導体人材育成とリカレント教育  
当センターは、1kmクラスOCMOS ICを試作可能なクリーンルームを持つ施設で、半導体の基礎を学べる4日間の実習セミナーを定期的に実施しており、遠隔地も含め全国から年間600名以上の受講者が参加しています。

〔3部〕14:10~14:40  
福岡半導体リスキリングセンターの取り組み  
福岡県が調査や研修を通じ、半導体やデジタル産業分野などの重点技術に精通した人材育成を強力に行うために新設する「福岡半導体リスキリングセンター」の取組について紹介いたします。

〈講師〉〔1部〕経済産業省 九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 課長 田口 賢徳 氏  
〔2部〕九州工業大学 マイクロ化総合技術センター 教授 中村 和之 氏  
〔3部〕(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 福岡半導体リスキリングセンター 副センター長 / 九州大学 システム情報科学研究センターシステムLSI研究センター 教授・センター長 井上 弘士 氏

(企画主催) 経済産業省九州経済産業局 / (公財)福岡県産業・科学技術振興財団 / 日刊工業新聞社

18 水 15:30~16:30 [申込み番号] A3

## 生成AIはわれわれの生活をどう変えるか

2010年代からの第3次AIブームでは機械学習の手法であるディープラーニング(深層学習)という技術がもたらした画像や音声の認識に使われてきたが、2022年になってその技術が画像や文章の生成に使われるようになった。人間が文章を入力するとそれに対応した画像や文章を出力してくれるという生成AIの登場は自動車の登場に匹敵する大きな出来事と言える。ここでは生成AIの産業を含むわれわれの生活をどのように変えるかを考えていく。

〈講師〉 東京大学 次世代知能科学研究センター 教授 松原 仁 氏

(企画主催) モノづくり日本会議

19 木 13:00~16:00 [申込み番号] A4

## 福岡県工業技術センター 令和5年度 研究成果発表会

### 「ものづくり中小企業の技術開発を支援します!」

福岡県工業技術センターは、「研究開発」、「人材育成」、「技術相談・試験分析」、「交流・連携」、「情報発信」を基本業務として、県内中小企業の発展を支援しています。本セミナーでは、当センターの重点取組や開発の成果、保有技術をご紹介します。

(口頭発表) A2F セミナー会場A (全公開発表内容)  
①工業技術センターの紹介 ②工業技術センターの重点取組 ③これからの注目技術 ④工業技術センターとの共同開発事例  
※会場内、研究事例、保有グッズ、特許・技術等の紹介ポスターを展示予定

(ポスター展示) A2F 展示ブース フェア会期中(10月18日~20日)常設工業技術センターと工業技術センタークラブの活動紹介の展示ブースを設けます。(株)エース・ウォーター、(株)SING、三作合成(株)

(お問合せ先) 福岡県工業技術センター 情報交流課  
TEL:092-925-5977 <https://www.fttc.pref.fukuoka.jp/>  
(企画主催) 福岡県工業技術センター / 福岡県工業技術センタークラブ

20 金 11:00~12:30 [申込み番号] A5

## 九州座談会シリーズ! 最新のロボットSler動向~ロボットSlerについて語り合おう~

九州座談会シリーズ第2弾! (一社)日本ロボットシステムインテグレーション協会九州地域会が主催する「ロボットSler最新動向」を語り合います。ここでは九州ならではの話題をお聞きください!

〈講師〉 〔1部〕協会紹介  
(一社)日本ロボットシステムインテグレーション協会 広報部長 高橋 祐紀 氏  
〔2部〕九州座談会シリーズ! 最新のロボットSler動向~ロボットSlerについて語り合おう~  
座 長: (一社)日本ロボットシステムインテグレーション協会 副会長 奥山 浩司 氏 (株)HCI 代表取締役社長  
パネラー: 九州地産地消推進委員会 代表 三浦 浩一 氏  
①(株)三松 エンジニアリング 代表 古賀 貞行 氏  
②第一建設工業(株) 執行役員 山崎 雄一郎 氏

(企画主催) (一社)日本ロボットシステムインテグレーション協会 / 日刊工業新聞社

20 金 14:00~15:00 [申込み番号] A6

## 防衛装備庁における研究開発の取り組み

近年、AIや量子技術のような民生の技術が急速に進化しており、社会や人々の生活だけでなく安全保障確保にも大きな変化をもたらしています。我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、将来にわたって技術的優越を確保し、他国に先駆けて先進的な能力を実現することが重要です。このため防衛省では、民生分野の先端技術を幅広く取り込み、その成果の積極活用を進めています。また、今後、革新的な装備品を実現するため、令和6年度以降「新たな研究開発」を設立することとしており、現在検討を進めています。本セミナーでは、防衛省の研究開発における様々な取り組みをご紹介します。

〈講師〉 防衛装備庁 技術戦略部技術戦略課 技術戦略課長 藤井 圭介 氏

(企画主催) 日刊工業新聞社

